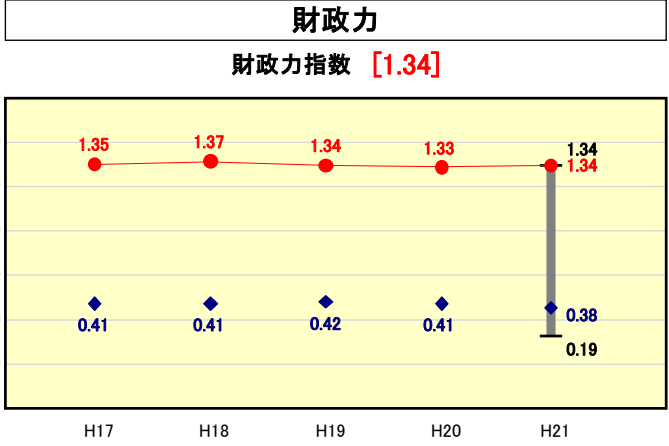


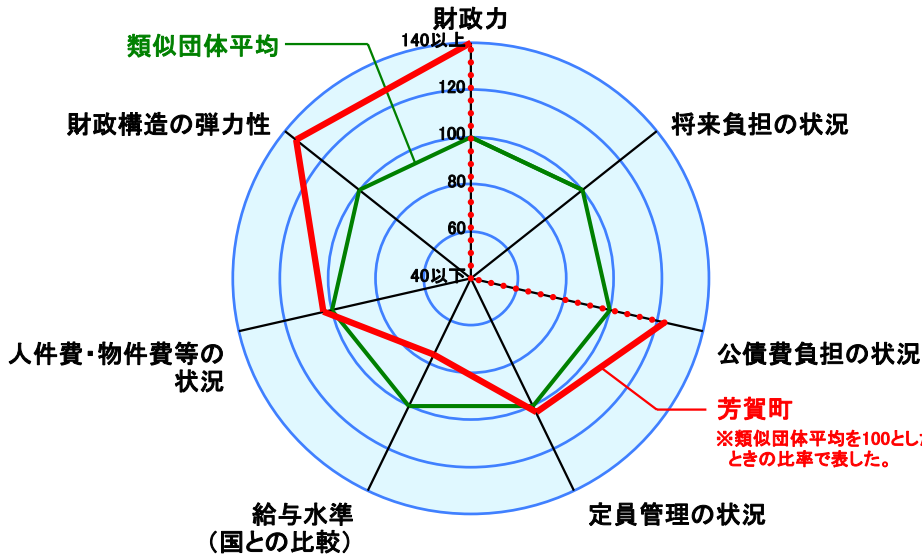
# 市町村財政比較分析表(平成21年度普通会計決算)



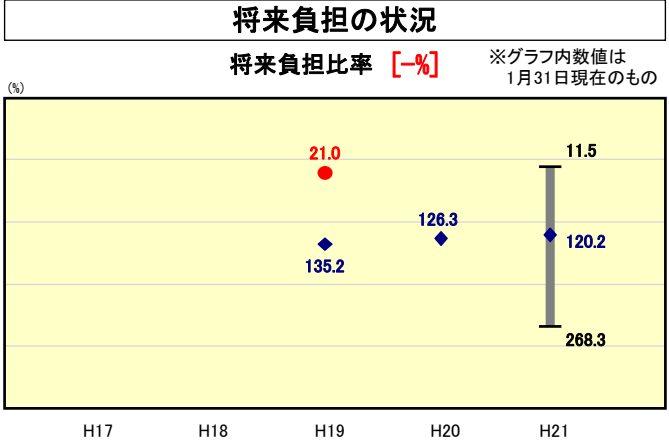
● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
T 類似団体内の最大値及び最小値

類似団体内順位 1/33  
全国市町村平均 0.55  
栃木県市町村平均 0.79

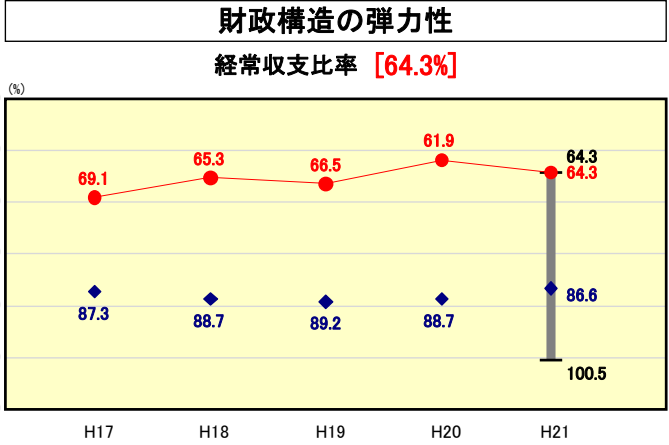
人口	16,688	人(H22.3.31現在)
面積	70.23	km <sup>2</sup>
標準財政規模	6,211,304	千円
歳入総額	8,879,860	千円
歳出総額	7,795,001	千円
実質収支	664,087	千円



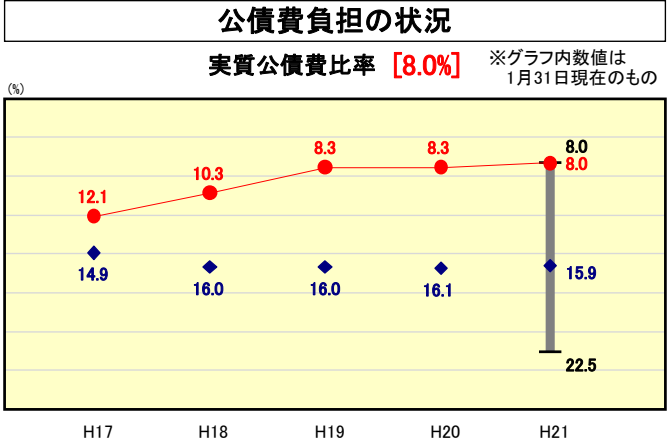
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。



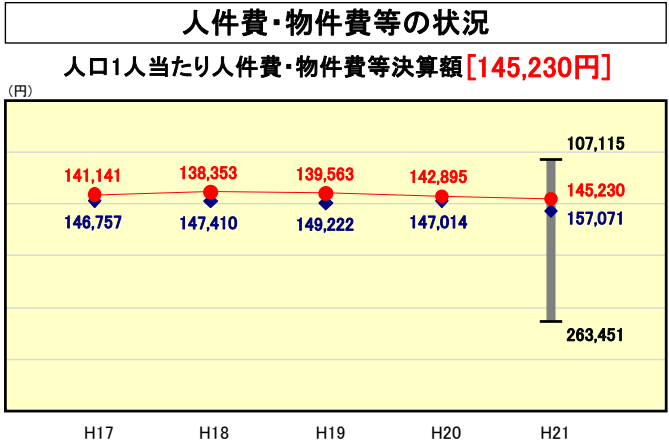
類似団体内順位 1/33  
全国市町村平均 92.8  
栃木県市町村平均 55.5



類似団体内順位 1/33  
全国市町村平均 91.8  
栃木県市町村平均 89.7

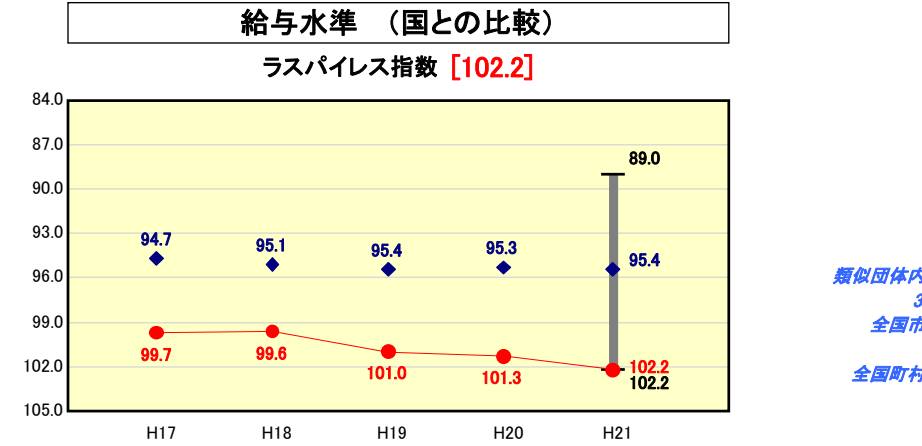


類似団体内順位 1/33  
全国市町村平均 11.2  
栃木県市町村平均 10.3

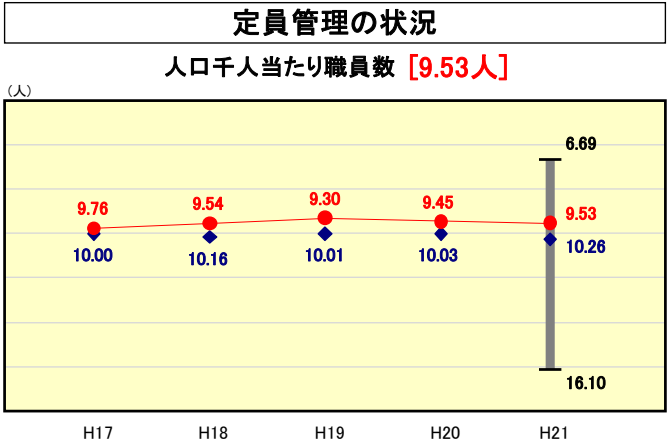


類似団体内順位 13/33  
全国市町村平均 115,856  
栃木県市町村平均 109,111

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし 人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。



類似団体内順位 33/33  
全国市平均 98.8  
全国町村平均 95.1



類似団体内順位 14/33  
全国市町村平均 7.33  
栃木県市町村平均 7.10

**分析欄**

**財政力指数**  
芳賀工業団地立地企業等により基準財政需要額を大きく上回る税収があるため、類似団体の中で最高の1.34となっており、平成14年度から8年連続で1.00を超えている。  
税の徴収率は、平成19年度が94.5%、平成20年度が94.9%、平成21年度が94.7%となっているが、今後とも徴収率改善等による歳入の確保に努める。

**経常収支比率**  
平成21年度決算で税収が59億2,600万円で、歳入総額の66.7%を占めており、経常収支比率は類似団体の中で最小の64.3%となっている。  
社会福祉費及び児童福祉費等の扶助費の増が予想されるので、今後とも、事務事業の見直し等の行財政改革への取り組みを通じて経常経費の削減に努める。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額**  
類似団体平均を下回っているが、これは、温泉センター等での指定管理制度の導入や給食調理業務等の民間委託が要因と思われる。  
今後とも民間での対応可能な施設管理については、指定管理制度の導入を検討するとともに、保育園の民営化等により、更なるコストの削減に努める。

**ラスパイレス指数**  
国の水準を超えており、類似団体の中で最も高い水準となっている。  
地域の民間企業や他団体の給与状況等を踏まえ、人事評価制度の導入等で適正な昇給管理を行うことにより、給与の適正化を図る。

**将来負担比率**  
起債残高の減少や財政調整基金の積立による充当可能基金の増等により、2年連続で将来負担比率がマイナスとなり、類似団体の中で最少となっている。  
今後とも、地方債の発行の抑制等により、公債費等の義務的経費の削減を図り、財政の健全化に努める。

**実質公債費比率**  
企業会計を含めた全ての会計を対象に、プライマリーバランスの黒字を目安とした投資的事業の選択と地方債発行額の上限枠設定等により起債を抑制することで、類似団体の中で最小の8.0%となっている。  
今後とも、実質公債費比率の急激な上昇を避けるよう、起債に依存することのない財政運営に努める。

**人口千人当たり職員数**  
行財政改革プランに基づき、組織機構の見直しや給食調理業務等の民間委託化を進めたため、類似団体平均を下回っている。  
平成17年4月に181人だった職員数は、平成22年4月には170人となっており、5年間で11名の減(△6.1%)となっている。  
今後とも、適正な定員管理に努める。